



最高値は50万円で落札！ JAフルーツ山梨が桃のトップセールスを開催！

山梨県JAフルーツ山梨春日居支所トップセールス

- 期日：7月16日(木)
- 場所：大田市場
- 主催：JAフルーツ山梨
- 内容：笛吹市市長によるマイクパフォーマンス、サンプルの展示

■ 笛吹市長が来場しトップセールスを実施！

新型コロナウイルスにより市場での消費宣伝が少なくなっているなか、7月16日(木)にJAフルーツ山梨による桃のトップセールスが大田市場で開催されました。今回のトップセールスでは、JAフルーツ山梨春日居支所のある笛吹市の山下政樹市長やJAフルーツ山梨の雨宮代表理事専務をはじめ、市議会議員や生産者、JA関係者の計12名が来場し、今年度では初となる産地関係者が来場してのトップセールスとなりました。会場では、試食やリーフレット等の配布は行われませんでした。トップセールス用に作られた特別規格の木箱2箱と、通常出荷の木箱6箱がラップをした状態で展示され、来場者へのPRが行われていました。



笛吹市の山下市長による挨拶

産地挨拶については、新型コロナウイルス対策として1名のみということ、産地を代表して笛吹市の山下政樹市長から市場関係者、買参人の方々に向けて「今年は長雨だが、生産者の努力で病害も少なくすばらしい出来となっている。春日居地区のフルーツをぜひよろしくお祈りします。」との挨拶が行われました。

また、これまでのトップセールスは競売前に実施されていましたが、今回については新型コロナウイルス対策として競売後の実施となり、会場は三角コーンや看板の設置により来場者が密な状況にならないような工夫が行われていました。



密を避けるために設置された看板

■ 白熱した競売に！最高値は50万円で落札！

山下市長からの挨拶終了後には、会場に展示されていたサンプルを含めて22点の桃の競売が行われました。競売は白熱し、後半に進むほど盛り上がりを見せ価格は高くなっていきました。最高値は会場に展示されていたトップセールス用の特別規格の木箱で、50万円と非常に高額での落札となり、落札時には会場は大きな拍手で包まれました。



競売も間隔を空け密を回避して実施



50万円で落札された木箱